

2021 年度 後期

留学生教育・支援センター

日本語プログラム科目 シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
中級Ⅱ 会話	水 4	古本	... 1
中級Ⅱ 作文	水 3	未定	... 2
中級Ⅱ 読解	火 1・火 2	松本	... 3
中級Ⅱ 聴解	木 2	小谷	... 4
中級Ⅱ 漢字	金 2	川崎	... 5
留学生教育・支援センターで開講されている日本語プログラムでの各クラスのレベルについて			... 6

2021年度 後期	曜日・校時	水曜日・4校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ会話			
担当教員名	古本裕美	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	(1) 日常生活に関連する話題および身近で個人的に関心がある事について、楽に自信をもって積極的に話すことができる。(2) 予期しなかった状況について詳細に説明することができる。(3) カジュアルに話すためのルールを知り、それを使いながら日本語の雑談が友達とできる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

第1週から第9週までは、理解しやすい日本語を発音するためと即座に日本語で応答する力をつけるためにシャドーイングの練習をします。第6週以降は、カジュアルな日本語で友達と会話ができるようになるための練習をします。

第1週	9/29	オリエンテーション, 口頭試験 (1)
第2週	10/6	きっかけについて分かりやすく説明する
第3週	10/13	人の外見や物について詳しく描写する
第4週	10/20	ハプニングについて詳しく説明する (1)
第5週	10/27	ハプニングについて詳しく説明する (2), シャドーイングテスト (1)
第6週	11/10	雑談: カジュアルに話す (1)
第7週	11/17	雑談: カジュアルに話す (2)
第8週	11/24	雑談: 聞き上手になる (1)
第9週	12/1	雑談: 聞き上手になる (2), シャドーイングテスト (2)
第10週	12/8	雑談: 親しくなるきっかけを作ろう (1) 話し相手に共感を示す
第11週	12/15	雑談: 親しくなるきっかけを作ろう (2) 不満や不安を共有する
第12週	1/5	雑談: 親しくなるきっかけを作ろう (3) 沈黙を破る
第13週	1/12	雑談: もっと親しくなろう (1) 前に話したことの続きを話す
第14週	1/19	雑談: もっと親しくなろう (2) 自分の身近な人についてわかりやすく話す
第15週	1/26	雑談: もっと親しくなろう (3) お互いの経験の有無について確認しながら話す
第16週	TBA	口頭試験 (2)

教科書・教材等	『新版 ロールプレイで学ぶ中級から上級への日本語会話』(凡人社), 『日本語教師のための日常会話力がグーンとアップする雑談指導のススメ』(凡人社), 『関係作りの日本語会話—雑談を学ぼう—』(くろしお出版)
成績評価の方法・基準等	(1) 宿題: 40% (2) シャドーイング: 20% (3) 口頭試験: 15% (4) 授業への参加度: 25% 注意: 授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 <u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係: 乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

2021年度 後期	曜日・校時	水曜日 3校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ作文			
担当教員名	未定	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	論理的な構成を意識し、N2レベルの書き言葉による分かりやすい文章が書けるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

***変更の可能性あり**

第一部では、論理的な文章を書くために必要な文体・文法・表現などの基礎的な知識を学びます。第二部では、論理の組み立て方、段落、文章の構成などを学びます。授業に関連した作文を書く宿題があり、翌週に提出しなければなりません。

第1週	9/29	オリエンテーション、原稿用紙の使い方、書くときの注意
第2週	10/6	第Ⅰ部 第1課 レポートに使われる文体
第3週	10/13	第Ⅰ部 第2課 文の基本 1, 2
第4週	10/20	第Ⅰ部 第2課 文の基本 3, 4
第5週	10/27	第Ⅰ部 第3課 句読点の使い方、第4課 句読点以外の記号の使い方
第6週	11/10	第Ⅰ部 第5課 引用文
第7週	11/17	第Ⅰ部 試験Ⅰ
第8週	11/24	第Ⅱ部 第1課 段落
第9週	12/1	第Ⅱ部 第2課 仕組みの説明
第10週	12/8	第Ⅱ部 第4課 分類
第11週	12/15	第Ⅱ部 第5課 定義
第12週	1/5	第Ⅱ部 第6課 比較・対照
第13週	1/12	第Ⅱ部 第7課 因果関係
第14週	1/19	第Ⅱ部 第8課 意見と論拠
第15週	1/26	第Ⅱ部 第9課 資料の利用
第16週	TBA	第Ⅱ部 試験Ⅱ

教科書・教材等	『新訂版 留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワークおよびプリント
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 15%、課題提出 25%、試験Ⅰ 30%、試験Ⅱ 30% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 <u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行、家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

2021年度 後期	曜日・校時	火曜日・1校時、2校時	コマ数	2コマ
授業科目	中級Ⅱ読解			
担当教員名	松本久美子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	日本社会について書かれた様々な文章を読む中で、文章理解に必要な文法・表現を学習するとともに語彙を増やし、中級後期レベルの読解力をつける。			
<p>授業概要／毎週毎の授業内容を含む</p> <p>基本的に予習を前提に教科書に沿って授業を進めます。必ず予習して授業に来てください。また課毎に読解と文法の宿題があります。</p>				
第1週	9/28	オリエンテーション / 第1課 病院の色		
第2週	10/5	第1課 病院の色		
第3週	10/12	第2課 エープリル・フール		
第4週	10/19	第3課 学校の制服		
第5週	10/26	第4課 計算の方法を説明する		
第6週	11/2	第5課 子供の遊び		
第7週	11/9	第6課 古くなったお札の行方		
第8週	11/16	復習 / テスト①:1課~5課		
第9週	11/30	第7課 水への関心		
第10週	12/7	第8課 南米の先住民は全員O型?		
第11週	12/14	JLPT:N2(読解問題) / 第9課 座談会「漫画について」		
第12週	1/4	第9課 座談会「漫画について」/ JLPT:N2(読解問題)		
第13週	1/11	第10課 ヒトのことばと鳥の歌		
第14週	1/18	第10課 ヒトのことばと鳥の歌 / JLPT:N2(読解問題)		
第15週	1/25	復習 / テスト②:6課~10課		
教科書・教材等	『中級を学ぼう:日本語の文型と表現 82、中級中期』スリーエーネットワーク			
成績評価の方法・基準等	<p>授業への参加度 10%、宿題 10%、テスト 80%(テスト① 40%・テスト②40%)</p> <p>注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。</p>			
アクセシビリティ	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p><u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u></p> <p>(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>			
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2021年度 後期	曜日・校時	木曜日・2校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ聴解			
担当教員名	小谷裕子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	ナチュラルスピードの音声から必要情報を的確に拾うことができる。聞き取った内容を正確に理解し、自分の言葉で再表現できる。また、表記することができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

様々な分野のニュース等を聞くことにより正確な聴解力を向上させるとともに、語彙力・表現力を高める。また、日本社会とその抱える問題について理解を深める。

第1週	9/30	オリエンテーション / plus40 ㊦ (21) 回転寿司
第2週	10/7	(23) 名前の無い手紙
第3週	10/14	(24) あなたの成績は朝ごはん次第
第4週	10/21	(26) いちばん上の子は神経質?
第5週	10/28	(27) 結婚するなら年上? 年下?
第6週	11/4	(28) 太鼓の響き
第7週	11/11	(29) 睡眠不足じゃありませんか?
第8週	11/18	(30) お菓子のおまけ
第9週	11/25	(31) 進化するロボット
第10週	12/2	(33) 日本を知らない日本人
第11週	12/9	(34) よみがえった日本の技術
第12週	12/16	(35) 若い登山家
第13週	1/6	(38) 屋上の緑化
第14週	1/13	(36) 変化する就職事情
第15週	1/27	(39) 英語力や資格は必要ですか? / 総まとめ
第16週	2/3	期末試験

教科書・教材等	『毎日の聞き取り plus40 ㊦』凡人社 (主教材) 日本語能力試験N2聴解関連教材 (副教材)
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 20% 態度 10% 小テスト 20% 課題 20% 期末試験 30% 注意: 授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係: 乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

2021年度 後期	曜日・校時	金曜日・2校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ漢字			
担当教員名	川崎 加奈子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	今まで勉強した漢字を復習・整理しながら、新しい漢字の読みや意味を理解し、場面や文脈に合った漢字語彙が使えるようになる。			
<p>授業概要／毎週毎の授業内容を含む</p> <p>各課16～18字の新しい漢字を学びます。教科書各課の最初にある「覚える」の漢字を分担して予習し、PPT等でプレゼンをしてもらいます。PPTへの質疑応答を通じて漢字の読みや意味を確認した後、「確認する」～「コロケーション」について教室で話し合い、ことばの使い方を考えます。各課終了後、小テストをします。</p>				
第1週	10月1日	オリエンテーション、1課「覚える」のPPT例		
第2週	10月8日	1課「覚える」の紹介、「確認する」		
第3週	10月15日	1課「考えて使う」「発展問題」「コロケーション」		
第4週	10月22日	1課小テスト、2課「覚える」の紹介		
第5週	10月29日	2課「確認する」「考えて使う」「発展問題」「コロケーション」		
第6週	11月5日	2課小テスト、3課「覚える」の紹介		
第7週	11月12日	3課「確認する」「考えて使う」「発展問題」「コロケーション」		
第8週	11月19日	4課「覚える」の紹介、【テスト①】		
第9週	11月26日	4課「確認する」「考えて使う」「発展問題」「コロケーション」		
第10週	12月3日	3・4課小テスト、5課「覚える」の紹介		
第11週	12月10日	5課「確認する」「考えて使う」「発展問題」「コロケーション」		
第12週	12月17日	5課小テスト、6課「覚える」の紹介		
第13週	1月7日	6課「確認する」「考えて使う」「発展問題」「コロケーション」		
第14週	1月21日	6課小テスト、7課「覚える」の紹介		
第15週	1月28日	7課「確認する」「考えて使う」、【テスト②】		
教科書・教材等	『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙 上級編』八木真生他著、ココ出版			
成績評価の方法 ・基準等	小テスト 10%、テスト① 30%、テスト② 30%、宿題完成度 30% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

**留学生教育・支援センターで開講されている
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて**

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能な JLPT (日本語能力試験) のレベル	CEFR (ヨーロッパ言語 共通枠) のレベル
初級Ⅰ	初級 前半	初歩的な文法・漢字（100 字程度）、語彙（800 語程度）を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話ができ、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。 ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 ・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	N5	A1 A2-1
初級Ⅱ	初級 後半	基本的な文法・漢字（300 字程度）・語彙（1,500 語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話ができて、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。 ・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。 ・簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 ・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	N4	A2-2
中級Ⅰ	中級 前半	基本文法の応用ができ、漢字（700 字程度）・語彙（3,500 語程度）を習得し、一般的なことから、日常的な話題について、簡単な会話ができて、読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。 ・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。 ・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。 ・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。	N3	B1
中級Ⅱ	中級 後半	やや高度な文法・漢字（1000 字程度）・語彙（6,000 語程度）を習得し、少し高度な一般的なことから、日常的な話題について、会話ができて、読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 ・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。	N2	B2
上級Ⅰ	上級 前半	高度な文法・漢字（1,500 字程度）・語彙（8,000 語程度）を習得し、大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。 ・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。		
上級Ⅱ	上級 後半	高度な文法・漢字（2,000 字程度）語彙（10,000 語以上）を習得し、大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。 ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。 ・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 ・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。	N1	C1 C2

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級Ⅰ	（5 単位、週 5 コマ）	中級Ⅰ読解	（2 単位、週 2 コマ）	上級Ⅰ読解	（2 単位、週 2 コマ）
初級Ⅱ	（5 単位、週 5 コマ）	中級Ⅰ聴解	（1 単位、週 1 コマ）	上級Ⅰ総合	（2 単位、週 2 コマ）
		中級Ⅰ会話	（1 単位、週 1 コマ）	上級Ⅱ総合 A	（2 単位、週 2 コマ）
		中級Ⅰ作文	（1 単位、週 1 コマ）	上級Ⅱ総合 B	（2 単位、週 2 コマ）
		中級Ⅰ漢字	（1 単位、週 1 コマ）	上級Ⅱ総合 C	（2 単位、週 2 コマ）
		中級Ⅱ読解	（2 単位、週 2 コマ）	上級Ⅱ総合 D	（2 単位、週 2 コマ）
		中級Ⅱ聴解	（1 単位、週 1 コマ）	日本語能力試験 N1 対策講座	（1 単位、週 1 コマ）
		中級Ⅱ会話	（1 単位、週 1 コマ）		
		中級Ⅱ作文	（1 単位、週 1 コマ）		
		中級Ⅱ漢字	（1 単位、週 1 コマ）		
		中級総合 A	（1 単位、週 1 コマ）		
		中級総合 B	（1 単位、週 1 コマ）		

*週 1 コマとは、1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。

（本ページのみ：2015/07/30 作成，2018/01/26 更新）